



# 今井小だより

第9号

令和3年

11月30日

青梅市立今井小学校



今井小HP

## なすことによって学ぶ

校長 神尾 健彦

表題「なすことによって学ぶ」はアメリカの教育学者デューイの主張「Learning by Doing」を日本語に訳した言葉です。デューイは「人は、経験したことから学ぶことが多い。だから自分の経験したことを基に考えを深めることでさらに成長し、その経験を価値付けていくということを繰り返していくことが重要である。」と主張しました。学校行事はまさにこの考え方を基にして実施されています。

11月12日(金)と13日(土)に音楽会を開催しました。練習の過程で子供はそれぞれ担当の楽器に挑戦し、みんなで一つの音楽を作り上げました。合奏では自分勝手に音を出しては全体を壊してしまいます。音楽会を通して子供は、「できなかったことが努力を重ねることのできるようになる」、「自分一人で好き勝手なことをするのではなく仲間と協力して一つのものを作り上げることは素晴らしい」というようなことを経験を通して学ぶことができました。そしてその学んだことを教師や保護者が「頑張ることってやっぱり大事だね。」「みんなと一緒に何かを作り上げるためには、助け合ったり力を合わせる事が大切だね。」と価値付けることで、子供は次の経験をするときこの学びを生かすことができるようになります。「素晴らしかった」「よかった」だけでなく、この経験の何が子供にとって大切かをしっかり伝えることで学びが深まります。



もう一つ、6年生は大きな経験をしました。11月24日(水)～26日(金)に実施された2泊3日の日光移動教室です。岩宿遺跡、日光東照宮、日光湯元温泉、戦場ヶ原、日光自然博物館、足尾銅山など実際に文化遺産や自然に触れながら、実物を見る・その土地の人の話を聞くことを通して学習を深めるこ

とことができました。インターネットや書籍からだけでは感じ取れないものを経験を通して確かに獲得することができました。学校でこの経験を自分で振り返り、まとめることでまさしく「なすことによって学ぶ」ことができます。さらに移動教室では自分の身の回りのことをすべて自分で行うこと、宿舎の人の様々な準備や心遣いに気づき感謝すること、時間を見ながら次の行動を計画的に考えること、仲間に迷惑をかけないことはもちろん仲間のためになる行動することなど、普段の生活ではなかなかできない経験をしてきました。これらの経験がすべて子供の成長につながります。



子供は学校やそれ以外のところで経験を通していろいろなことを学び、心や体を成長させます。今井小の子供が学んだことを生かして行動する力を発揮し、これからの生活を豊かで楽しく過ごしていけるよう今後も様々な教育活動に励んでまいります。